

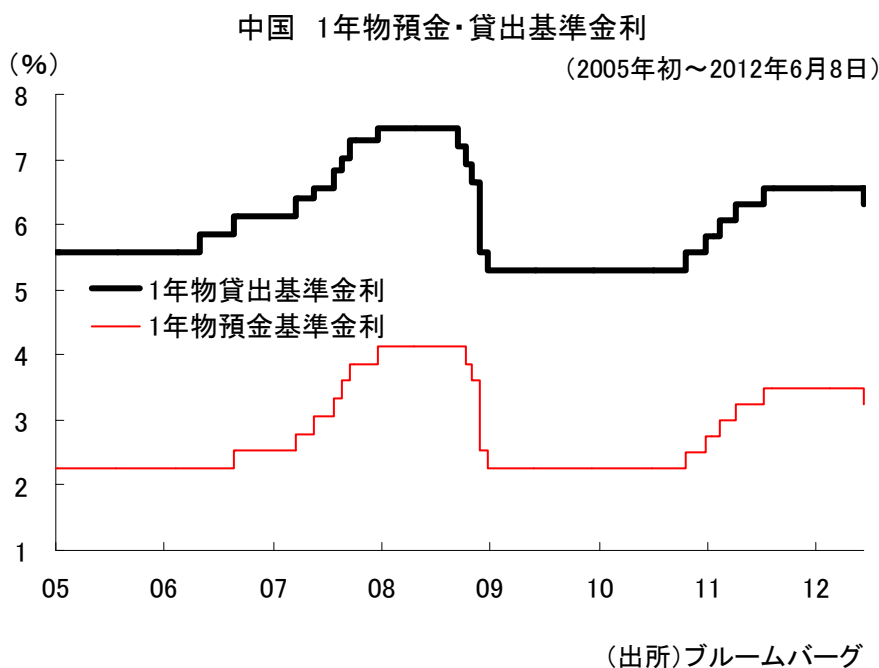
## 中国の利下げについて

2012年6月8日

### <1年物基準金利を0.25%ポイント引き下げ>

中国人民銀行(中央銀行)は6月7日(現地)夜に、預金および貸出の基準金利を引き下げ、8日から適用すると発表しました。市場で注目されやすい1年物預金・貸出基準金利はいずれも0.25%ポイント引き下げられ、それぞれ3.25%、6.31%となります。市場関係者の間では利下げ予想は少数派であった上に、9日以降に5月の一連の経済指標が発表される予定であったことを考え合わせると、予想外の利下げといえます。

### 政策金利の推移



### <政府の景気下振れ警戒感が強まる>

2008年のリーマンショック後の景気悪化と比較すると今回の成長率の鈍化ペースは緩やかであり、世界景気の先行きは欧州情勢次第の不透明な状況が続いています。共産党・政府の内部では、将来的なインフレ圧力への懸念から、大規模な景気対策を打つことに対して慎重論があった模様です。しかし、4月の多くの経済指標が市場予想を下回ったことに加えて、5月に欧州情勢が緊張したことから足元の景気が予想外に下振れた可能性があります。政府は全国人民代表大会(全人代)で2012年の成長率目標を7.5%に引き下げましたが、政府内部では社会安定のためにはこれより高い成長率が必要であるという意見も根強いとみられ、政府は景気下振れへの警戒感を強めたと考えられます。

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## <2012年後半に景気は緩やかに持ち直す可能性>

中国で基準金利を変更することは、金融政策姿勢が変化することを示唆するため、今後は、金融緩和姿勢が強まると考えられます。具体的には、預金準備率の引き下げや窓口指導を通じた融資支援を続けるとともに、インフレ安定が続けば追加利下げもありうると思われます。また、温家宝首相は5月18～20日に地方視察を行った後、重要プロジェクトの早期執行に言及したこともあり、財政政策でも景気下支えが行われると考えられます。これらの金融・財政の両政策によって、中国景気は2012年後半に緩やかに持ち直す可能性があります。

## <金利規制を若干緩和>

人民銀行は利下げとともに、基準金利への規制を若干緩和しました。具体的には、貸出金利の下限を貸出基準金利の0.9倍から0.8倍へ引き下げ、預金金利の上限を預金基準金利から1.1倍へ引き上げました。銀行にとって貸出金利と預金金利の設定において自由度が若干ながら大きくなりました。ペースは緩やかとはいえ、政府・人民銀行は金利規制を緩和する方向に向かっていると考えられます。

## <利下げによる人民元への影響は限定的の見込み>

中国では資本取引が制約されているため、先進国のように海外との金利差を背景とした通貨変動は発生しにくいと考えられます。したがって、政府のインフレ懸念が後退すれば、輸出競争力の視点から緩やかな人民元安が容認される可能性はありますが、政府のインフレ懸念が後退し金融緩和が進展しても人民元への影響は限定的で、その変動は政府・人民銀行の管理可能な範囲内にとどまると思われます。

以上

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.20750%（但し、最低2,625円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会